

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

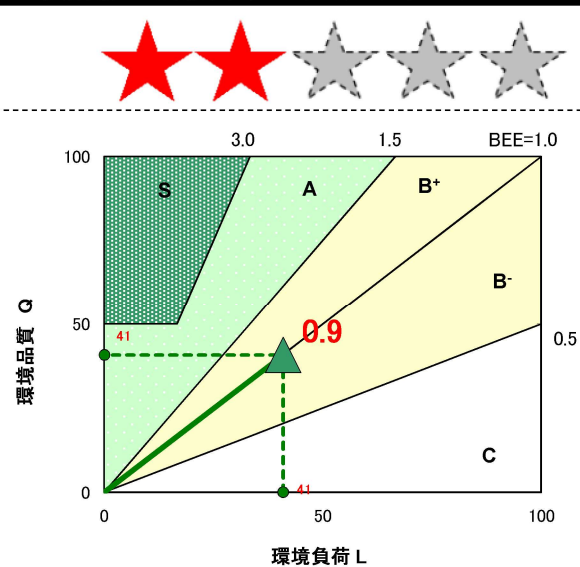
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	荒尾市小岱作業所	階数	地上2階
建設地	熊本県荒尾市増永宇東長浦2452-2	構造	2種類以上
用途地域等	1種中高層	平均居住人員	45 人
省エネ:地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年3月 予定	評価の実施日	2025年2月12日
敷地面積	6,623 m ²	作成者	株式会社 桜樹会・古川建築事務所
建築面積	1,403 m ²	確認日	2025年2月12日
延床面積	2,531 m ²	確認者	株式会社 桜樹会・古川建築事務所

外観パース等

外観図の貼り付けは、
【外観図】シートへ貼り付けてください。

2 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



BEE = 0.9

■ BEE (環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■ 環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値 (排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

■ ライフサイクルCO₂排出性能 (ランク表示)



排出率

80%

3 熊本県重点評価結果

■ 重点事項総合評価

重点事項総合評価	評価点
	71

評価点

■ 熊本県重点評価基準

判定値 (評価点)	ランク表示
100点以上	★★★★★
80点以上100点未満	★★★★
60点以上80点未満	★★★
40点以上60点未満	★★
40点未満	★

【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進

89.1

【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現

62.5

【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全

47.5

【重点事項4】 循環型社会の実現

68.9

※評価点は、100点以上が推奨です。

熊本県重点評価結果 スコアシート ※手動入力は不要		実施設計段階
建物名称	荒尾市小岱作業所	

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

熊本県重点評価結果				総合評価点		71
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				89.1	0.40	35.64
Q1-2.1.2	外皮性能	1.5	0.05			
Q1-3.1.3	屋光利用設備	3.7	0.05			
Q1-3.2.1	屋光制御	2.3	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	5.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.8	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	5.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				62.5	0.20	12.50
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				47.5	0.20	9.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	1.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				68.9	0.20	13.78
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.2	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数

■ 環境関連の配慮事項

荒尾市小岱作業所

印刷:モノクロ
設定済み

・適宜、箇条書き等で記入してください。

・キーボード操作:改行の際は【Alt】キー&【Enter】キーで次の行に進みます。

計画上の配慮事項		※必ず、何らかのコメントを記入してください。
総合		周辺建物との統一感を出すため、同事業団が隣地で経営する保育園の建物と同じようなシンボリックな屋根形状を一部採用し、屋根、外壁を同系統の色彩計画とした。
Q1 室内環境		・使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。 ・2階の居住スペース窓は断熱性を考慮し、複層ガラスを採用した。 ・1階の機能訓練室はスペース的に広いので災害時に周辺住民にも避難利用してもらうことを想定し、窓ガラスは防災ガラスを採用した。
Q2 サービス性能		・将来の更新を想定し、居室はビニルクロスを採用。床面も更新しやすいビニルシート、ビニルタイルを採用した。
Q3 室外環境 (敷地内)		外壁材の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る。
LR1 エネルギー		・屋根は軒の出を90センチ設け、またメンテナンスバルコニーも設けることで1階、2階共にできるだけ日射遮蔽性を図った。 ・空調している部屋の熱を換気で外部に逃がさない全熱交換器の換気扇を採用。
LR2 資源・マテリアル		・国の木材利用の促進に従い、2階部分は木造とした。 ・限りある資源を有効に利用する。砕石は再生材を利用。
LR3 敷地外環境		・立柱外灯は同事業団で一体的に利用している敷地内通路側に設け、あとは建物出入り口等の必要な部分に壁面センサーライトを設けるのみとし、周辺への光害がないようにした。
その他		特になし